

ひがしいず 議会だより

2022 No.306

1 月号

時代に合わせた
お寺を目指す

P12で取り組みを紹介

風力発電施設事業継承へ.....P2～3

一般質問9名.....P5～9

議会改革度ランキング637位へ.....P10～11

かがやくまちのひと.....P12

議会HP



本年もよろしくお願ひいたします。～ 議員一同 ～

民間へ事業継承

11月 臨時会

2020年には稼動していた最後の風車が停止しました。動力のための電気代で検討が進められてきましたが、風車撤去を含む事業継承を望む民間企業が

これまでの主な質疑

2018年12月から町営風車の無償譲渡と新規風車の建設などについて、議会と町・民間企業が議論を重ねてきた。

議会からの質疑

第1回目の説明（2018年12月11日）では、日立製の風車（出力1870kw）を4基建設すると聞いていたが変更があったのか？
また、県の環境影響調査は必要ないか。

町・民間企業の回答

日立が製作を中止したのでエネコン製（ドイツ）の3基に換えた。出力は3000kwで高さは121m。新設の風車と近隣施設の最近接距離は、アニマルキングダムが245m、稲取保育園が591mとなる。県の環境影響調査は第2種事業のため必要がない。

議会からの質疑

近隣施設や稲取保育園、風下の片瀬・白田地区住民に騒音や低周波音、シャドーフリッカーなどの被害が出ないか。

町・民間企業の回答

風況調査の結果から、風車により発生する騒音や低周波音が、近隣施設を含めた周辺住民に対して悪影響を及ぼす可能性は低いと認識している。シャドーフリッカーについては海外の基準を参考に推算したが、これも大きな問題はないと評価している。

議会からの質疑

町長は、住民や議会の納得が得られなければやらないと言ってきたが、住民説明会はいつ行うのか。

町・民間企業の回答

10月13日に行う。定員を25名とし、事前申し込み制とする。

議会からの質疑

新設の風車への町としての関わりは。また、企業側に倒産や転売のおそれはないか。その際は撤去されずに放置されるのではないか。

町・民間企業の回答

町有地を貸し付け、その地代の一部を出資する形で考えている。撤去費用の積み立てについては国も報告を義務付けており、問題はないと考えている。

議会からの質疑

他の事業者に譲渡された場合、協定書は継承されるのか。

町・民間企業の回答

仮に事業譲渡となった場合でも、協定が継承されることが前提である。

町営風力発電施設

2003年から始まった町営の風力発電事業。その後、落雷などによる故障が相次ぎ、や点検費用などの維持管理費に年間約1000万円がかかり続けるため、町では撤去の方向あり、議会は10回に及ぶ全員協議会の中で、町・民間企業側と議論を重ねました。



事業出資金1,100万円可決

民間企業より町有地貸付料（20年分一括前納）として町に2,100万円の歳入を行い、そこから土地の一部を所有する白田区へ分配金1,000万円、事業出資金として1,100万円の歳出を行う補正予算案が上程され、賛成多数で可決した。

主な賛成討論

- 事実に基づく調査データからは反対する部分は見受けられない。
- 熱川の風車の頃より法整備も進み厳しい規制となっている。
- 協定書に住民の相談対応も明記される。
- 出資により町が町民に対する責任の一部を担う部分も出てくる。
- 議会からの要望により協定書もでき、町民への被害の予防・対応ができる。

主な反対討論

- 熱川の風車では、地域住民の生活や健康に影響があった。それを繰り返してはならない。
- 移住者・観光客は手つかずの自然を求めている。
- 今の風車の約2倍の大きさでは近隣施設の子供も達や動物、従業員への影響が懸念される。
- 地価の下落や転居する町民の増加が懸念される。
- 風車による健康被害は医学的に立証されず、救済措置がとられていない。

議案	採決結果 (賛成：反対)	楠山節雄	笠井政明	※ 稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山愼一	藤井廣明	鈴木勉	定居利子	山田直志
令和3年度一般会計補正予算 (第6号)	可決(8:3)	○	○	—	○	○	×	○	×	×	○	○	○

○賛成 ×反対

※議長は採決に加わらない

一般会計補正予算等を可決

12月 定例会

令和3年第4回定例会は、12月7日から8日までの2日間の日程で開かれ、専決承認2件、補正予算2件、条例・規約変更2件が提案され、審議の結果すべて原案どおり可決されました。一般質問は1人60分以内とし、9人の議員が登壇しました。

Pickup ① クーポン券発行事業補助金



※クーポン画像はイメージです

600万円

町内宿泊施設または大型観光施設の利用客に対し、飲食店や観光施設等で使用可能なクーポン券を配布する。

Pickup ② 小中学校児童生徒給食費負担金

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、2か月分の給食費を無料化する。

460万円

議案名	採決結果	楠山節雄	笠井政明	※稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	藤井廣明	鈴木勉	定居利子	山田直志
補正予算													
専決承認第8号 令和3年度一般会計補正予算（第7号）	可決（11：0）	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決承認第9号 令和3年度一般会計補正予算（第8号）	可決（11：0）	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号 令和3年度一般会計補正予算（第9号）	可決（11：0）	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号 令和3年度水道事業会計補正予算（第4号）	可決（11：0）	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例・規約変更													
議案第54号 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	可決（11：0）	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号 東河環境センター規約の一部変更	可決（11：0）	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対

※議長は採決に加わらない

12月定例会 一般質問



一般質問

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明をもとめること。

楠山 節雄 議員

- 旧大川小学校の跡地等の利活用について
- 収集ゴミの有料化後の対応について
- 熱小プール付近にある桜の木の対応について

栗原 京子 議員

- 高齢者のデジタル活用支援について
- 带状疱疹ワクチンについて

鈴木 勉 議員

- マイナンバーカード事業について

定居 利子 議員

- 公共交通事業について

須佐 衛 議員

- アフターコロナを見据えた移住政策について
- 里親制度への取り組みについて

藤井 廣明 議員

- 町長の政治姿勢について

笠井 政明 議員

- 人口減少問題について

山田 直志 議員

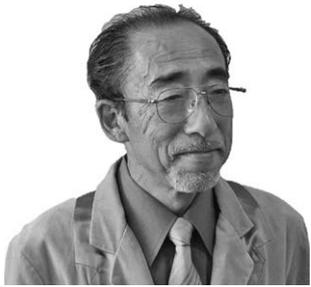
- 町の政治姿勢について
- 地域コミュニティづくりについて
- 労働者不足の対策について

西塚 孝男 議員

- クロスカントリーコースの管理について
- 小中一貫教育について

Q 旧大川小学校の利活用は

A 大川区の方向性がまもなく定まる予定



くすやま せつお 議員
楠山 節雄

そのほかの 質問

A 不法投棄の対策やゴミの減量、リサイクル率の向上を目指す

Q ゴミの有料化後の対応は

Q 旧大川小学校の利活用は。

A 現在大川区で利活用の委員会を立ち上げており、区長の諮問に対し答申が出される予定。

Q 町が積極的に関わることで方向性を加速させるべきでは。

A 地元の利用内容が決まっていないため、地元の意志が決まった後に協議していく。



改善が望まれる進入路

Q 地域の活性化のためにも民間活用を模索していくべきでは。

A 民間からの問い合わせもあるので区の意向を確認しながら検討していきたいと考えている。

Q 決定内容がどうであれ、進入道路の整備が不可欠では。

A 現時点では区に地権者の意向確認をお願いしている段階であるため、町が関わるのはその後になる。

Q 高齢者向けのスマホ教室は

A まずは意向調査をしたい



電源の入れ方から始まる
初歩的なスマホ教室

- Q** 社会のデジタル化が進む中、スマホ教室など高齢者のサポート体制は。
- A** まずは高齢者が集う場で意向調査をしたい。
- Q** スマホに不安がある層、不必要と考える層それぞれにアプローチし、行政側から働きかけなければスマホ所有者は増えないのでは。
- A** 強制的に行うのは課題があると考えます。
- Q** ガラケーは数年後には使えなくなる。その周知も必要では。
- A** 検討したい。
- Q** 公民館などのWi-Fi環境整備は。
- A** コスト面で厳しいが、公民館は防災拠点でもあるため、臨時交付金で優先的にやっていたい。
- Q** 総務省の特設サイトに教える側の資料や動画が掲載されている。地域や携帯ショップと連携して講師をお願いしてはどうか。
- A** 国としてもデジタル格差の解消は強く推進している。動向を注視したい。



栗原 京子 議員

そのほかの質問

- Q** 帯状疱疹ワクチン接種の助成は
- A** 現時点では考えていない

Q マイナンバーカード申請手続きは

A マイナポイントが最大2万円分もらえます



顔写真付きなので身分証にも

- Q** マイナポイントがもらえる人は。
- A** 既にマイナンバーカードを持っており、第一弾のマイナポイント申請をしていない方が新しく申請をする方が対象となる。
- Q** マイナンバーカードを申請する際に持っている物は。
- A** 免許証やパスポート等、写真付きの物は一点、写真付きの物は一点、マイナポイントの付与はいつからか。
- Q** 第二弾のマイナポイントについては、令和4年1月1日から一部開始しており、ポイント付与については、利用する決済サービスにより異なる。
- Q** 町が上乘せできるポイントは。
- A** 地域商品券を配布できるか検討する。
- Q** この機会を見逃さないよう町民への周知方法は。
- A** 回覧、メール等で案内する。



鈴木 勉 議員



定居 利子 議員

Q 公共交通事業の運営・対策は

A 来年度以降、本格的に検討していく

Q 自主運行バスの町の負担が1千181万9千円であるが対策は。また、乗降客調査は。

A 大川〜志津摩間は毎日5往復半運行しており、令和4年度からは土日祝日の運行を取りやめる方向で検討している。5月、6月、10月の調査結果は、平日の利用者が1日129人、土日は50人である。



大川〜志津摩間
自主運行バス

Q 乗降調査はどこに行ったか。

A 職員が1日バスに乗り調査した。

Q 高齢者の買い物難民や免許証返納等の問題がある中で、大型バスから小型バスや集合タクシーに変更する考えは。また現在27箇所ある停留所や運行経路の変更は考えていないか。

A 多額の経費が必要となるので難しい。来年度以降は本格的に検討をしていく。

Q 自家用有償旅客運送制度の取り組みは。

A 自主運行バス、タクシー事業がある中で現段階では考えていないが、来年度は先進地事例の視察や調査など、研究をしていきたい。

Q アフターコロナの移住支援策は

A 空き家活用や就業支援の補助金を活用

Q 転入が増える傾向にあるが全て移住とは限らない。どう把握しているか。

A 県から転入の分析をするよう指示があり、アンケート調査を実施している。

Q 町の支援策は近隣市町と比べて見劣りはしないが、伊東市では医療・福祉・保育関連に就職を希望するUターンや移住希望者に対し、手厚い支援を行っているが。

A 財政的にゆとりがない。

Q 町内の宿泊業者や農業者等に繁忙期の人手不足を懸念する声がある。人材バンクのような仕組みを町が管理する考え

	町の人口	転入	転出	出生	死亡	前年差
2019年	12,086	581	597	41	216	-159
2020年	11,817	521	547	26	269	-269
2021年	11,687 (10月まで)	491	447	17	191	-130

2021年1月から10月までの合計で転入が転出を上回っている

は。また、「特定地域づくり事業協同組合」に町が支援する形も考えられるが。

A 組合に支援する形は考えられる。検討を進めるべきと思う。



須佐 衛 議員

そのほかの質問

A 県から権限移譲を受け事務を代行している

Q 里親制度について、取り組み状況は

Q 任期中の誇れる実績は

A 伊豆東部総合病院を残せたこと



藤井 廣明 議員



移転を引き留めた伊豆東部総合病院
(現：康心会伊豆東部病院)

Q 4期16年をどう総括するか。

A 大きな社会変動と厳しい財政状況の中、施策を確実に実行した。

Q 就任後すぐに許可を出した三筋山と熱川の風力発電が一番大きい仕事では。

A 風力発電はいいこと。新たに建てる3基を含め歴史の評価を受けた

いと思う。

Q いい事業なのになぜ施政方針演説や報道機関を入れなかったのか。

A 特に他意はない。

Q 行財政改革はどう進んだか。

A 役場の職員数をこの16年で68人削減した。消防を除いて34人の減である。

Q 人口減や観光客の大幅減少、住民サービスの低下など失われた16年間でなかったか。

A 精いっぱいやった。失われた16年とは思わない。

Q 出生数の対策は

A 国が取り組むべき政策



笠井 政明 議員

Q 人口減少対策としてこれまでの取り組みは。

A 人口減少対策として、移住・定住促進施策、出産・子育て支援への取り組みを行った。

Q 出生数が予想より大幅に少ないがどのように考えているのか。

A ここ2年間の出生数が大きく減少した大きな原因は、新型コロナウイルス感染症の流行だと考える。母子手帳交付件数などから来年も出生数の回復は見込めない。

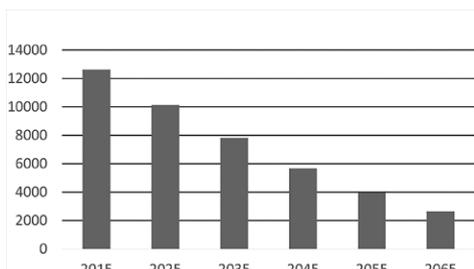
Q 平成29年3月議会での答弁では、出生数を増やす方向で考えているとのことだったが、現状は減少している。乖離についての考えは。

A 子育て支援などを

行ってきたが、働く場所の問題や若者のUターン等も見込めない現状で、増やす方向は変わらないが現実は減っている。

Q 今後の対策・ビジョンは。

A 町の対策によって出生数を増加させることは困難であり、国が取り組むべき政策であると考え。今後、人口が減ることを前提に行政サービスを継続していく。



今後人口がどんどん減少していく

※データ参照 RESAS-地域経済分析システムより



やま だ なお し 議員
山田 直志

Q 町民参加型の町政へ

A 第6次総合計画で

Q スマート自治体の中で、町が重視すべきことは何か。
A 行政需要は山積している。社会情勢が目まぐるしく変化の中で、事業の緊急性や必要性、費用対効果等を検討し、迅速に対応を図ることを重視すべきと考えている。



説明会の様子

Q 変化やニーズが多様化する中では、広聴活動がますます重要になると考えるが。
A 町民参加型の行政は必要だと思う。これから作る第6次総合計画に入れる事を考えたい。

Q 「財政」や「小中一貫教育」「ごみの有料化」等、各説明会に町民はなぜ怒りや不信感を持ったか。
A 日頃から意見を聞く機会を設けており、怒りや不信感を持ったとは感じていない。

Q 町が決めて、町民には説明でというやり方は、怒りや不信感が生まれる。町民が決定に参加できる場を作るなど従来の開かれた行政から町民参加型の行政への転換が必要ではないか。
A そこは私も同じように考えている。

そのほかの質問

Q 地域支援員の配置を
A 考えていない

Q クロスカントリーコースの管理は

A 多くの課がそれぞれの管理をしている



にし づか たか お 議員
西塚 孝男

Q クロスカントリーコースの管理はどの部署が行っているのか。
A 教育委員会事務局、建設整備課及び観光産業課など多くの課がそれぞれの管理をしている。

Q 芝生が枯れているのは。
A イノシシによる掘り起こしが広範囲に及んでいるため。町民からの連絡の都度、ならしているが、追いつかない状況。

Q コース内の枯枝などの散乱は。
A 以前、災害等で集めていた倒木をまとめて「ウッドチップ」にしてコースに撒いた経緯がある。コースに良いと思ったが想定より大きかったために歩きにくくなったかもしれない。

Q ツリーハウスがまた使用禁止になっているがどうするのか。
A 支柱の腐食により、事故防止の観点から使用禁止にしている。

Q 修理をするのか。
A 建設業者と協議し、安全面の確保を図ったうえで再開したい。



立ち入り禁止のツリーハウス

そのほかの質問

Q 小中一貫教育についてアンケート調査は
A まだ早いのでしていない

位から637位へ

議会改革
特別委員会

「た議会」を合言葉に、町民にわかりやすい議会を目指して議会改革に取り
革調査部会による議会改革度総合ランキングで2018年の1,357位から

改革 ③ 議会活動の見直し



議員全員での予算審査

- 議決に対する責任を明確にするため、採決方法の見直しを行い、「異議なし」から起立採決に変更した。
- 議員の情報共有を目的として、予算・決算の審査を一つの特別委員会で行うこととした。
- 今までは所管委員会ごとに議案説明がされていたが、議員が情報を共有するため、全員で説明を受けるように変更した。

今後の取り組み

議会の役割を見直すこと

これからは、聞いた町民の声を整理して、政策としてとりまとめていく取り組みが必要になる。また、デジタル化や広域化等で町の仕事の取り組み方も変わりつつある一方で、直に町民と接し、町の様々な課題を提供し、その声を聞き、共により良い判断・選択ができるよう、合意形成の中でその役割をより高めていく必要がある。

議会改革の継続的な取り組みを推進すること

今後の議会改革の取り組みは、議会運営委員会を中心としつつ、議員全員で取り組む。

議会運営の役割分担を整理すること

協議や調整に関する常任委員会協議会の活動ができるようになったが、本会議や議会全員協議会、常任委員会等、議会本来の権能を有する機関との役割分担を整理する。

議会改革の報告書はこちらから
東伊豆町ホームページ>町政・議会>議会>委員会の活動>議会改革の取り組み



議会改革度1,357

2019年9月に設置された議会改革特別委員会（議員全員で構成）は、「町民に開かれ組んできました。その結果、地方議会を対象とした早稲田大学マニフェスト研究所議会改2020年637位と評価され、議会運営の改革・改善が図られました。

改革 ① 運営規則の見直し



議会傍聴のルールを大きく変更

- 一般質問の見直しを行い、一問一答方式の導入と町長の反問権を認めた。
- 議場、委員会へのノートパソコンやタブレット等の機器の持ち込みを認めることとした。
- 議会傍聴規則等の見直しを行い、手続きや規制事項を無くし、本会議及び委員会の傍聴をしやすくした。

改革 ② 開かれた議会へ



一般質問を YouTube にて配信

「東伊豆町議会 YouTube」で検索



- 広報編集委員の手による議会だよりの作成を行い、紙面の充実に取り組んだ。
- 住民団体等と意見交換会を行い、町民の意見を取り入れた議会運営に取り組んだ。また、幼稚園児、小・中学生の保護者には web アンケートを使ったヒアリングを行った。
- YouTube にて一般質問の動画を配信して、いつでも町民が視聴できるようにした。

かがやく まちのひと

Vol.8

今回は、子供座禅会や御朱印さんぽ、お寺 de マルシエなどに取り組む白田の東泉院 和尚 金田祥道さん取材しました。



東泉院 和尚

かねだ しょうどう
金田 祥道さん



マルシエでは地元の方々が足を運ぶ
※写真はコロナ前

「先日は、「お寺 de マルシエ」を開催しましたが、御檀家さんのお声かけではじまり、途中コロナ禍による中断もありましたが、皆さんのご協力により10回目の開催となりました。大きなことを目指すのではなく、今やれることを無理せずやっていくという気持ちで取り組んでいます。」

「先日、お寺 de マルシエを開催しましたが、御朱印さんぽもやっていきますね。」

「お寺も観光資源ですね。」

「先日は、「お寺 de マルシエ」を開催しましたが、御檀家さんのお声かけではじまり、途中コロナ禍による中断もありましたが、皆さんのご協力により10回目の開催となりました。大きなことを目指すのではなく、今やれることを無理せずやっていくという気持ちで取り組んでいます。」

「お寺も観光資源ですね。」

「お寺は、昔は住民の管理や寺子屋など地域の中心でしたね。」

「今は御供養の場所と思う方が多いのではないですか。」

「お寺は、昔は住民の管理や寺子屋など地域の中心でしたね。」

「今は御供養の場所と思う方が多いのではないですか。」

編集後記

今私たちの町は、子ども的人数が減少したことで、幼稚園や小・中学校をどのようにしていくか話し合いをしている。その中、私は「どの子どもも星」という書を読んだ。先生も親も、点数の低い子どもはつまらない子どもと考えるしまう傾向が強くなると、その子しか持っていない光を見なくなる、すると子どもの光は消え、まばたきをやめてしまう。先生も親も子どもの個性の星を天に輝かせようという話だった。

私はこの町で育つ子どもたちは、自然を満喫してここでしか体験できないことを教えていくことが一番ではないかと思う。一人ひとりがどんな花でも大輪を咲かせるように見守りたい、町の宝だから。

(西塚)

議会広報編集委員会

委員長	笠井政明
副委員長	栗原京子
委員	稲葉義仁
委員	西塚孝男
委員	藤井廣明
委員	山田直志